



今年のできごと振り返る 令和6年「養父市10大ニュース」投票受付開始

養父市では、年内に起こった市政に関するできごとの中から、市民等の投票で選定する「養父市政10大ニュース」の公表を2014年度から実施しており、昨年度から「養父市10大ニュース」として、市政に限らず、養父市で起きたできごとの中から選定しています。

今年の養父市10大ニュースの投票を2024年12月19日（木）まで、ウェブ上で受け付けています。

投票結果の公表は、12月24日（火）に予定しています。



- 1 投票期間 2024年12月11日（水）午前0時～12月19日（木）午後5時
- 2 投票方法 養父市ホームページからのウェブ投票
(<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kiki/joho/gyosei/10news/11109.html>)



市ホームページ

※投票は、候補の中から5個以内を選択するものとする。

- 3 投票できる人 不問
- 4 ニュース候補 39項目（別紙のとおり）
- 5 結果発表 2024年12月24日（火）（予定）

【問合せ】

危機管理室 情報課 課長 津崎 朋彦 担当者 主査 岩見 ちはる
電話 079-663-2600

	項目	概要
1	「二十歳のついで」179人を祝福	年度内に20歳を迎える人を対象とした「二十歳のついで」を開催。会場では、再会を喜ぶ参加者の姿が見られました。
2	能登半島被災地支援 石川県珠洲市で移動式ランドリーを稼働	1月1日に発生した能登半島地震の被災者支援のため、石川県珠洲市に移動式ランドリーなどを派遣。ランドリーは6月末まで稼働しました。また、多くの義援金が市に寄せられました。
3	バーチャルやぶ総選挙 ムーディ勝山さんがPR大使に	メタバース空間「バーチャル inZEP」内で、吉本興業（株）所属の芸人が養父市に関するネタを披露し、視聴者がオンライン投票。最も得票数の多かったムーディ勝山さんを「バーチャルやぶPR大使」に任命しました。
4	物流と地域の課題解決をめざしドローン配送の実証実験 民間3社と連携協定	ドローンなどの次世代高度技術を活用し、買い物弱者、物流業界の人手不足といった課題の解決を目指すため、民間3社と連携協定を締結。物流専用機で出合診療所から医薬品を轟区に届ける実証実験を行いました。
5	市内スポーツ用品店 バットとボールを市内小学校・義務教育学校に寄贈	アメリカのメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手が全国の小学校にグローブを寄贈したことを受け、子どもたちに野球を楽しんでもらおうと、スポーツ用品店のモリタスポーツが市内の小学校、義務教育学校に野球用のバットとボールを寄贈。
6	口大屋の大アベマキ クローン苗木植樹	国指定天然記念物「口大屋の大アベマキ」の貴重な遺伝子を後世につなぐため、国の研究機関によって接ぎ木された「クローン苗木」が養父市に里帰り。親木のそばに植樹されました。
7	特殊詐欺被害を防止 朝来市、南但馬警察署と連携協定を締結	特殊詐欺の被害に遭うおそれがある高齢者の情報を本人同意のもとで市町の地域包括支援センターなど関係機関と共有し、被害を防ぐ協定を朝来市、南但馬警察署と結びました。
8	養父市出身のマンガ家が描く「上垣守国」発行	B&G財団の事業を活用し、マンガふるさとの偉人「上垣守国」を発行。生涯を通じて養蚕技術の向上に尽力した大屋町蔵垣出身の上垣守国を描いたもので、作者は養父市出身のマンガ家・コンタロウさん。マンガは、市内の全小中学生に配布したほか、市ホームページで公開。また、マンガの完成を記念し、原画展を開催しました。
9	新たな門出をやっぷーがお祝い 養父市初のオリジナル婚姻届	養父市のイメージキャラクター「やっぷー」をデザインした、初のオリジナル婚姻届を作成しました。養父市を知っていただくきっかけとなるよう、やっぷーのほかに名草神社三重塔、錦鯉、ブナ、ミズバショウの写真をあしらいました。
10	やぶくる運行エリア拡大 八鹿・養父地域でスポット運行開始	自家用有償観光旅客等運送事業（やぶくる）の運行エリアを拡大し、八鹿・養父地域でのスポット運行を開始。利用者から要望の多かった八鹿・養父地域の6カ所（JR八鹿駅、公立八鹿病院、養父市役所、スーパーセンタートライアル養父店、やぶYタウン、ほっとステーション）と大屋・関宮地域の行き来が可能に。
11	出合診療所 隅達則医師が着任	昭和59年から約40年にわたり出合診療所長を務めた中村武志医師が3月31日をもって退職。4月1日付けで新たに隅達則医師が着任しました。
12	地域を繋ぐコミュニティナース 地域おこし協力隊 土居一雄さん就任	4月1日付で土居一雄さんを地域おこし協力隊員として委嘱。神戸市出身の土居さんは、二級建築士、看護師資格などを持ち、建築事務所や医療施設などに勤務。地方への移住を検討していたところ、コミュニティナースを募集していた養父市が目にとまり、地域おこし協力隊員に応募しました。
13	「働く」を応援 YB やぶいろマルシェ始まる	障がいを持つ人が通う市内の就労系サービス提供事業所で生産された野菜などの販売会「YB やぶいろマルシェ」がスタート。利用者の働く意欲につなげようと始まったもので、利用者は販売だけでなく、包装やチラシ作りなどにも意欲的に取り組んでいます。
14	養父市の山 山開き	八チ高原交流促進センター周辺で八チ高原・氷ノ山鉢伏・東鉢伏・大屋の観光協会各支部合同の「養父市の山」山開きが開かれ、観光関係者らがグリーンシーズン中の鉢伏山や氷ノ山などの来訪者の安全と地域の繁栄を祈願しました。
15	やぶ音楽祭 初開催	養父市初の音楽祭「ようきんさつた！やぶ音楽祭」を開催。お手軽なワンコインコンサートから珠玉のクラシックまで、市内4ホールで計10公演の多彩なラインナップを展開しました。
16	多彩な芸能華やかに 第1回養父市芸能祭	「第1回養父市芸能祭」が開かれ、養父市文化協会に所属する合唱や舞踊、邦楽などの15団体が出演。日ごろの練習の成果を披露しました。
17	ヤギによる草刈り実証実験	琴弾クリーンセンター跡地で、ヤギが除草活動を実施。急な斜面での危険な除草作業の負担軽減や、草刈り機などに使用する化石燃料を減らすことで温室効果ガスの排出削減を図る実証実験。
18	第11回やぶ医者大賞 受賞者に中嶋裕さん、佐藤優子さん	過疎地域で地域医療に尽くしている医師をたたえる「やぶ医者大賞」の審査会を行われ、新規5人、過去2年の応募者の4人、9人の中から、島根県の浜田市国民健康保険波佐診療所の佐藤優子医師、山口県の山口市徳地診療所の中嶋裕医師が選ばれました。11月に表彰式を行い、2人を祝福しました。
19	新キャラクター「やっぷー」登場	養父市イメージキャラクター「やっぷー」の新しいお友だち「やっぴー」が登場、やぶ市観光協会の通常総会でお披露目されました。やっぴーは、桜の木の妖精。頭についている花は樽見の大桜、マフラーは草原、手足はブナの木、目は朝倉さんしよをそれぞれ表しています。

20	マイナンバーカードで避難者受け入れ 避難所開設訓練	マイナンバーカードを活用した避難者受け入れを想定した指定避難所開設訓練を実施。被災者の受け入れを想定し、参加者はパーテーションや段ボールベッドなどの組み立て、居住スペースの区分け作業を行いました。
21	新たな船出祝う 養父市制 20 周年式典	養父市誕生 20 周年を記念し「養父市制 20 周年記念式典」やぶ市民交流広場ホールで開催し、約 600 人が参加。産業振興や人命救助など市政の発展に寄与した人や団体を表彰。また、前鳥取県知事で大正大学特任教授の片山善博氏が講演しました。
22	一般公募で名前が決定 市役所横に「やっぱーひろば こぶこぶ」オープン	養父市制 20 周年記念事業として、昨年 10 月から整備を進めていた養父市役所西側（旧八鹿文化会館跡地）の芝生公園が開園。掘削工事、植栽用真砂土搬入、芝の植え付けなどを官民連携で行い、公園の名称は公募で「やっぱーひろば こぶこぶ」に決定しました。
23	みんなの居場所 市内各所で子ども食堂が開設	広く地域住民を対象とした「こども食堂」の開設・運営を行う団体に対する助成制度を今年度新設。この制度を利用し、5 団体が市内の各所でこども食堂を開設しました。
24	がん検診を啓発 生命保険会社と連携協定	がん検診などの受診率向上を目的に、日本生命保険相互会社姫路支社と連携協定を締結しました。検診を啓発することで、受診率の向上をめざします。
25	企画ツアーやインターンで交流 関西国際大学と包括連携協定	人材育成などの分野で相互に協力することを定めた包括連携協定を関西国際大学と締結。市内の観光地への誘客を図る企画ツアーやインターンシップなどで交流を図ります。
26	但馬 AC 秦谷さん全国大会出場	福井県で開かれた全日本中学校陸上競技選手権大会の男子 100 メートルに陸上クラブ・但馬アスリートクラブの秦谷海槻さん（八鹿町八木）が出場しました。
27	八鹿青溪・関学野球部 軟式野球全国大会出場	昨年合同チームを結成した八鹿青溪中学校野球部、関宮学園野球部が県大会、近畿大会を経て、第 46 回全国中学校軟式野球大会に出場。惜しくも初戦敗退という結果に終わりましたが、選手たちは「最高の夏」と振り返りました。
28	6 年ぶり盛大に開催 大屋ふるさと祭り	新型コロナや台風などの影響で平成 30 年を最後に開催が見合わされていた大屋ふるさと祭りが 6 年ぶりに開かれ、ステージイベント、夜店や盆踊りなどを楽しむ人たちで会場はにぎわいました。
29	やぶふるさとまつり開催 5 年ぶりの花火	5 年ぶりにやぶふるさと祭が開かれました。ステージイベントで和太鼓やダンス、吹奏楽などが披露されたほか、フィナーレは約 400 発の花火が打ちあがり、夏の夜空を彩りました。
30	林業でまちを元気に 地域おこし協力隊 河井章宏さん就任	地域おこし協力隊員として河井章宏さんが就任しました。西宮市出身の河井さんは、スキーや溪流釣りなどで養父市を訪れるうちに、環境整備や森林保護活動に興味を持つようになり協力隊に応募。今後、小規模で環境に配慮した自伐型林業に取り組みながら、林業家として独立を目指します。
31	「ミスタータイガース」村山実さんの遺品展示	阪神タイガースで活躍し、「ミスタータイガース」と称された村山実さんのトロフィーやユニフォームなどの遺品を関宮地域局分館で展示しました。村山さんの妻が養父市出身であることがきっかけで、選手のご遺族から寄贈を受けたものです。
32	第 30 回公募展木彫フォークアートおおや グランプリに高山いづみさん	全国からユニークな木彫作品を公募する「木彫フォークアートおおや」は、平成 6 年に始まり、今年 30 回目を迎えました。最高賞のグランプリ・文部科学大臣賞には、高山いづみさん（大阪府）の作品が選ばれました。
33	養父中生が発案 「虎のささやき」が完成	昨年 12 月に行われた養父小学校 150 周年式典で、養父市出身のプロ野球阪神タイガースの坂本誠志郎選手に養父中学生が提案した「虎のささやき」が完成。養父市地域ブランド認定品「鮎のささやき」を製造する(株)谷常製菓が手がけ、同社のイベントで限定販売しました。
34	宇宙関連企業が養父市に進出 2 社と連携協定を締結	宇宙関連事業に取り組む養父市と岐阜県大垣市の企業と連携協定を結びました。両社は、大屋町宮垣に実験場を整備し、気球を使ったロケットの打ち上げ技術開発を行います。
35	マイナンバーカード保有率 初の全国 1 位に	8 月末現在で、養父市のマイナンバーカード保有率が全国 1 位に。これまでも全国特別区・市区分では 1 位でしたが、町村部門も含めると 2 位となっていました。
36	養父市場の旧旅館 コワーキングスペースとして再生	養父市場にかつてあった旅館「柏屋」が、神戸市の事業者によってリノベーションされ、コワーキングスペース「triven Fab（トリブンファブ）」としてオープンしました。
37	地域交通の新たな活路 デマンド交通実証実験	昨年につき、デマンド交通の実証実験を関宮地域で実施。期間を延長し、電話予約に加え、新たに LINE での予約を受け付けるなど、将来を見据え、検討を進めました。
38	地域住民待望 門野バイパス開通	養父市と宍粟市を結ぶ県道養父宍粟線の門野バイパスが 10 月 12 日に開通。幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難な状況が改善されました。
39	市長・市議会選挙執行 新たな顔ぶれそろそろ	任期満了に伴う市長・市議会議員選挙が 10 月 20 日投開票で行われました。投票率は市長選 73.11%（前回比△0.41 ポイント）、市議選 73.09%（前回比△0.42 ポイント）でした。